

日本音楽家ユニオン結成30周年 ● 記念シンポジウム

Symposium II

未来にとどけ、音。

日本の音楽界の今をみつめる

日時: 2013.10.25 (金) 14:30～17:30

場所: STB139スイートベイジル 東京都港区六本木6-7-11

パネリスト: 三枝成彰 (作曲家 日本音楽家ユニオン特別顧問)
椎名和夫 (一般社団法人 演奏家権利処理合同機構MPN理事長)
須賀千鶴 (経済産業省 メディア・コンテンツ課総括補佐)
菅原端夫 (一般社団法人 日本音楽著作権協会理事長)
棚野正士 (公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会常務理事)
コーディネーター: 篠原 猛 (日本音楽家ユニオン代表運営委員)

後援 公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会(芸団協)

参加費: 無料 定員: 150名

日本音楽家ユニオン(略称:音楽ユニオン)は2013年10月30日に結成30周年を迎えます。これを記念し、今年5月に開催した記念シンポジウムIでは、FIM(国際音楽家連盟)のジョン・F・スミス議長、ペノワ・マシュエル事務局長らを招き、イギリスのアウトリーチを参考に、日本でのとりくみも紹介しつつ、現場でおきている課題について討論を行いました。

それによると、海外では音楽(家)が地域コミュニティや社会、教育など様々なシーンに深く浸透し、欠かせない存在=文化として定着しています。それに対し我が国では、制度の壁が厚く、実験的な活動にとどまっています。

このような差は、すぐには埋まらないと思われませんが、私たちはこの差を埋めることこそ、実演家の役割であると確信しました。

他方で、近年の音楽産業の変化は目まぐるしく、音楽産業、伝送、メディア等々がグローバルな変化を続けている時代に、実演家としてどのように対応するかは、たいへん大きな問題です。

今回のシンポジウムIIは、音楽界、音楽産業の未来に向けて、パネリストがそれぞれの専門分野から「今」の音楽界を分析し、その上で音楽家がどのように取り組んで行くべきかを討論するものです。

Symposium II

このシンポジウムの模様はUSTREAMで中継する予定です。
<http://www.ustream.tv/channel/muj-japan>
 twitter@muj_k

<主催>

日本音楽家ユニオン

〒160-0023
 新宿区西新宿6-12-30
 芸能花伝舎2階
 URL <http://www.muj.or.jp/>



- STB 139**
 〒106-0032 東京都港区六本木3-7-11
 TEL:03-5474-0139
- ・東京メトロ日比谷線・都営地下鉄大江戸線「六本木駅」3番出口より徒歩約3分
 (六本木交差点を麻布十番方面へ芋洗い坂を約50m下った右手)
 - ・東京メトロ南北線「六本木一丁目駅」1番出口より徒歩約15分
 - ・東京メトロ千代田線「乃木坂」駅より徒歩約15分
 - ・東京メトロ南北線・都営地下鉄大江戸線「麻布十番駅」4番出口より徒歩約15分

P 駐車場:最寄りの駐車場をご利用下さい。
 STB 139にはご利用頂ける専用駐車場は御座いません。

申し込みフォーム

10月22日 〆切

参加のお申し込みは、以下のフォームにより、Eメール又はFaxにて受け付けます。

お申し込み順で登録し、定員(150名)になり次第締め切らせていただきます。
 登録者には、登録確認のメールまたはFaxをお送りいたします。

お名前	所属
	必須 E-mailアドレス
	または Fax () - TEL () -
住所	

E-mail: symp30@muj.jp Fax: 03-5909-3063